

平成 24 年度総合防災訓練の実施について

1 目的

東日本大震災を教訓として駿河トラフから南海トラフにかけての巨大地震が突然発生した場合における発災直後から応急対策までの防災訓練を行い、市の防災計画などの検証や県・市・防災関係機関・自主防災組織等の連携強化及び地域の防災体制の確立を図るとともに、これらの訓練を通じて、市民一人ひとりの「自らの命は自ら守る 自らの地域は皆で守る」という防災意識の高揚と災害に対する知識と災害対応能力の向上を図る。

2 実施日

平成 24 年 9 月 1 日（土）午前中 市内全域

※医療救護訓練（救護所開設運営訓練）は 9 月 2 日（日）（場所：い〜ら）実施。

3 参加機関

県、市、防災関係機関、自主防災組織、家庭、事業所、学校、病院など

4 訓練想定

駿河トラフから南海トラフにかけての巨大地震が突然発生し、県内各地は震度 6 弱以上を観測、その数分後に津波が襲来し、県内全域で甚大な被害が発生した。

5 防災訓練スケジュール

9/1 午前 6 時 5 0 分	同報無線で訓練実施（中止）のお知らせ
午前 8 時 3 0 分	訓練地震発生 「サイレン 1 分間吹鳴」
午前 8 時 3 3 分	訓練津波警報発令
正午ごろ	同報無線で訓練終了のお知らせ

6 重点項目

- (1) 市民の防災意識の高揚と防災知識の向上を図る訓練
- (2) 津波・山崖崩れ危険地域など地域の災害の特性を踏まえた実践的訓練
- (3) 中学生・高校生等将来の地域防災力の担い手も含めた協働による地域密着型の自主防災訓練
- (4) 防災関係機関及び自主防災組織による広報、情報収集・伝達訓練
- (5) 地域における災害時要援護者（高齢者、障害のある人、幼児、外国人等）に重点を置いた避難誘導訓練